

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	止水板等購入費補助金交付事業			基本計画	節	4	総合戦略	基本目標	
事業コード					テーマ	1		施策の方向	
課係名	土木管理課用地管理係	内線	7732		施策	1		施策	
担当者氏名	渡辺 保正	職名	係長		主な施策展開	2		整理番号	

事業実施の経緯(現状)	浸水対策の一環として、過去に浸水被害に見舞われた区域へ建物等への被害防止又は軽減をはかる必要がある。
めざす姿・ねらい(目標・目的)	茂原市洪水ハザードマップの浸水実績がある区域で過去に浸水被害に見舞われ、市が被害状況を把握している地域の住宅、マンション、店舗等の建物に止水板等を購入しようとする者(法人等を除く)に対し、予算内の範囲において補助金を交付する。
実現するための課題(問題点)	①当該事業の周知。 ②補助金を交付するための予算確保。
具体的な取組(解決策)	①各種広報媒体を活用し、補助事業について周知を図る。 ②過去に浸水被害に見舞われた区域の建物等に止水板等を購入するものに対し、予算内の範囲において補助金を交付する。

主要指標	指標の種類		指標及び目標値(目標)の考え方	目標値(目標)		
	名称			5年度	6年度	7年度
■活動指標	①	市広報、自治会回覧、HP、SNS	全補助対象者に事業内容を周知	6	6	6
	②	相談件数	毎年度5件程度の相談件数の増	10	15	20
■成果指標		補助金申請件数	毎年度2件程度の申請件数の増	3	5	7

実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令計画名	① (仮称)茂原市止水板等購入費補助金交付要綱 ②
		補正予算要求理由	③ ④

事業継続	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年年度:無期	後年度負担	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	<input type="checkbox"/> 複数年年度:有期[始期 ~ 終期]	内容	後年度も継続

事業費の積算(千円)	年度	事業費	事務スケジュール		
			年月	内容	
5年度	止水板等購入費補助金	事業費	900	人工数	
		国県		0.10	
		市債		人件費	
		その他		756	
		一般財源	900		
		事業費	1,500	人工数	
		国県		0.20	
		市債		人件費	
		その他		1,513	
		一般財源	1,500		
		事業費	2,100	人工数	
		国県		0.30	
市債		人件費			
その他		2,269			
一般財源	2,100				

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 事業の必要性		<ul style="list-style-type: none"> ・社会環境や市民ニーズと整合があるか。 ・市が事業を行うことについて妥当であるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 必要性が高い B. 必要性が認められる C. 必要性について検討が必要である	自然災害から市民の生命、身体、財産を守るため、過去に浸水被害のあった区域に建物等への浸水被害の防止又は軽減をはかる必要性がある。 個人で止水資機材を購入するにあたり、個人負担の軽減が必要である。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画基本計画の施策の達成にどのように寄与するか。 ・ほかの事業と関連できる場合、より有効に働く面はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 有効性が高い B. 有効性が認められる C. 有効性について検討が必要である	自然災害から市民の生命、身体、財産を守り、被害を最小限にすることができ、茂原市が持つ水害の負のイメージを払拭できる。 施策「防災体制の充実(2) 自助・共助の取り組みの強化」に寄与する。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・投入したコストに見合った成果があがる見込みがあるか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 効率性が高い B. 効率性が認められる C. 効率性について検討が必要である	浸水被害の防止又は軽減をはかることができる。 市民自らが生命、身体、財産を守ることができる。
	4. 財源確保の見通し		<ul style="list-style-type: none"> ・国・県補助等の見通しはどの程度までであるか。 ・財源確保のため、他の事業を縮小又は廃止できる可能性はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	C	A. 見通しがある B. 一部見通しがある C. 見通しがない	今のところ対応できる国、県等の補助事業がない。

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価	◎評価理由	
	C	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	自助の取組を支援することで、施策「防災体制の充実」に資する事業であるが、市民要望の有無など事業実施に至る根拠が不明確であるため、実施を見送るものとする。
	■政策調整会議による評価		
	評価	◎評価理由	
	C	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	浸水被害の防止が図られる件数等の把握がされていなく制度設計に疑問が残り、本市の水害に十分な効果があるとは判断できないため、実施を見送るものとする。
■庁議による方針			
評価		具体的な方向性	
C	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	事業は実施しないものとする。	